

みんなとともに笑顔いっぱい - 「101」新たなステージへ -



みんなとともに



「もし本校の中で自分が一番先に新型コロナウイルス感染症に罹ったら、立場的にどうなるのかな」などと考えてしまいます。十分に気をつけてはいますが、何せ目に見えないものです。私を含め誰もが罹患するおそれがあります。そうなった場合は、その人(子)を責めずにみんなでその人(子)の回復を願いませんか。まずは、体調に変化があった時は、無理をせず休むようにしたいものです。



消毒作業への協力、ありがとうございます。

突然のお願いにもかかわらず、23名の方に協力の申し出をいただき、延べ107名の方に消毒作業をしていただきました。北校舎、南校舎と移動しながら、汗をかきかき、机や椅子などを一つ一つ消毒していただきました。この間、担任は「子どもに向き合うための仕事」に専念させていただき、大変助かりました。心より感謝申し上げます。

なお、来週からは「個別懇談」も始まりますので、今週末で一度消毒作業ボランティアの活動を終わることにします。「夏休み」後に再開する場合は、全保護者に改めて協力の依頼を行います。

【消毒作業ボランティア 協力者数】

	月	火	水	木	金
①	6/22	6/23	6/24	6/25	6/26
協力者数	9名	5名	6名	5名	5名
②	6/29	6/30	7/ 1	7/ 2	7/ 3
協力者数	6名	5名	7名	5名	5名
③	7/ 6	7/ 7	7/ 8	7/ 9	7/10
協力者数	5名	4名	5名	5名	6名
④	7/13	7/14	7/15	7/16	7/17
協力者数	3名	4名	7名	5名(推測)	5名(推測)
曜日別人数	23名	18名	25名	20名	21名
合計人数	延べ107名 (平均5.4名)				

「水泳学習」は夏休み前で終わりです。

保護者の皆様にきちんと説明をしていなかったと思いますが、今年度の「水泳学習」は1学期末をもって終了とします。これは、新型コロナウイルス感染症とは関係なく、当初から計画していたものです。

ここ数年、2学期になると天候が安定せず、回数にして1~2回入るのがやっとでした。また、夏季休業中も高温(気温・水温)の状態が続き、「プール開放(指導)」を中止にすることが多くなっていました。

このような状況と、校外にあるプール施設の状況、またプール管理に伴う教職員の負担等を鑑み、1学期のみの水泳学習としたものです。なお、「水泳記録会」も行わず、体育科の授業の中で適宜記録を取るようになります。ご理解をお願いいたします。

【校長のつぶやき】 その35 「臨機応変」

昇降口の中での「密」を避けるため、子どもたちは外に列をつくる。その後は、順に消毒をしてからシューズを脱ぐ。学校再開後は、誘導するための「赤い三角コーン」を並べていた。慣れてくるごとに、コーンの数を減らし、今はない。子どもたちはそのときの列の状況を見て、自分で“臨機応変”に並んでいる。

この“臨機応変”が難しい。列に並ぶには、“軒下の長短する列”にうまく入る必要がある。並んでいる人がいなければ真っ直ぐ昇降口に、列が短ければ花壇の切れ目から、列が長くなれば大回りして列の後ろから。“臨機応変”に対応できる「要領のよい子」をつい称賛してしまう。

さて、仮にA君と呼ぶが、彼は“臨機応変”に対応することが難しいようだ。先日も列が短いのに、大回りをして列の後ろに並んでいた。おそらく彼の頭の中は別なことで一杯なのではないかとも思う。先日も、「家にあるミニトマトに実がなりすぎて茎が折れそう。どうしたらよいか。」と校長に話していた。これまでも、たくさんの「なぜ」を彼の口から聞いている。

周りに目配り気配りを上手にする“臨機応変”な生き方もよいが、“臨機応変”とは無縁な生き方もよいのではないかと思う。そして、そういう子を許容する学校の雰囲気でありたい。A君を“そのまま”大事に育てることが、A君が「博士」となり世界で活躍することにつながるのではないかと考えている。